

「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」に認定

センコーグループホールディングス株式会社(本社:東京都江東区、社長:福田 泰久)とセンコー株式会社(本社:大阪市北区、社長:福田 泰久)は、2月20日、経済産業省と日本健康会議が共同で進める「健康経営優良法人2018(大規模部門)～ホワイト500～」に認定されました。

「健康経営優良法人～ホワイト500～」は、昨年からは開始された制度で、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、保険者(健康保険組合など)と連携して特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰するものです。

当社グループでは、2017年4月からスタートさせた中期経営5カ年計画の中期経営方針の重点施策として、「健康活動の推進」を明記し、グループ全従業員の健康増進を経営課題のひとつとして位置付けています。

2017年9月には、グループ従業員一人ひとりが健康で生き生きと働き、人生いつまでも元気で幸せな生活を送ることを目指して、「センコーグループ健康経営宣言」を制定しました。

現在当社グループでは、健康推進部が中心となり、関連部門やセンコー健康保険組合、社外の産業医等と連携し、「健康経営宣言」達成に向け、健康管理体制やメンタルヘルス対策の充実化を図っています。

また、2007年から開始した「健やか活動」などの健康増進活動を活発化するとともに、労働時間の短縮や休暇取得日数増によるワークライフバランスの推進、禁煙運動の展開など、職場環境の整備にも取り組んでいます。

今回の認定を受け、当社グループでは今後も従業員の健康増進に向けた取り組みを積極的に推進していきます。

以上



2018
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500